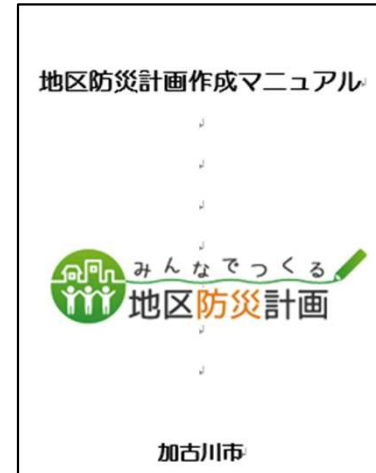


各市町、県の取組内容

【加古川市】 地区防災計画作成に係る取組みについて

● 地区防災計画作成を希望する団体への支援を実施

- ◆ 地区防災計画の作成を支援する取組みについて内閣府事業として当市の団体(町内会)が選定されたことを受け、実施した。
- ◆ 選定された地区(養田南町内会)は、加古川の河口部に接しており、加古川氾濫による浸水想定区域となるほか、南海トラフ地震の津波浸水想定区域になっている。
- ◆ 防災専門の大学教授をアドバイザーとして、市と協力しながら防災研修やワークショップを開催。
- ◆ これらを踏まえ、計画骨子案を作成した。



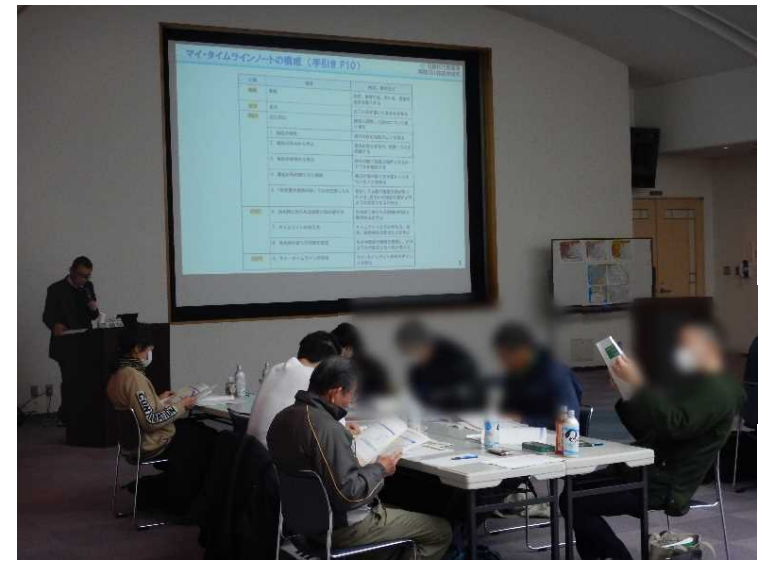
取組を実施した効果、成果

- ◆ ワークショップやまちあるき等を実施することで、住民の防災意識が確実に高まった。
- ◆ 避難行動要支援者への避難支援の取組みが具体化した。
- ◆ 地区防災計画策定を支援するため、「地区防災計画作成マニュアル」を策定した。

【加古川市】地域防災力強化に向けた取組みについて

●防災士等を対象として、地域の防災リーダー育成のために学習会を開催

- ◆ 国土交通省姫路河川国道事務所の職員を講師として、防災研修を開催
- ◆ マイ・タイムライン作成に係るワークショップを実施
- ◆ 防災士等による意見交換会を実施



取組を実施した効果、成果

- ◆ 地域防災の担い手でもある防災士等への研修を重ねることで、地域防災力の向上が期待できる。
- ◆ マイ・タイムライン作成に係る住民への指導要領を理解することができた。
- ◆ 防災士等の連携が深まり、情報共有の輪が広がった。

【高砂市】 地域防災力強化に向けた取り組みについて

○地域合同避難所開設・災害対応訓練の実施

大規模な災害に備え、学校と地域、関係機関が連携・協働し訓練に取り組む。



○令和元年7月18日 兵庫県立高砂南高等学校において、生徒、学校職員、地域住民及び防災関係機関が参加し、災害時において、地域の一員として高校生にできることを考え、自ら判断し行動する力を養うことを目的に避難所開設及び災害対応訓練を行った。



取組を実施した効果、成果

- ・各運営班に分かれて訓練を実施することにより、それぞれの役割を認識するとともに、避難所運営の流れを確認することができた。また、多くの参加者から、訓練を重ねる必要があるとの意見が寄せられ、防災意識の高揚を図ることができた。

【高砂市】避難所運営力強化に向けた取り組みについて

○防災とボランティア週間関連事業

「避難所・被災地の実際(外部支援者だから分かること)」と題した研修会を開催

○被災地NGO協働センター 頼政良太氏を講師に招き、防災研修会を開催した。
自主防災会・災害時支援ボランティア・避難所運営担当市職員等が参加するなか、被災地の実際と災害ボランティアを巡る課題について認識を深めることができた。



取組を実施した効果、成果

- ・数多くの災害救助活動に従事した経験に基づく講演で、被災地における避難所及びボランティア活動の現状についてそれぞれ認識を深めることができた。
- ・避難所での女性に関わる問題や官民が連携することによる災害対応の必要性を認識することができた。

【高砂市】 災害時の外国人支援に向けた取り組みについて

○「互いを知り、災害に備える」研修会の実施

日本で起きる災害について、日本人・外国人が一緒に学び、コミュニケーションをとりながら、「互いを知る」ということを目的に研修会を開催

○研修内容

- ・講演：兵庫県立大学准教授 阪本真由美氏を招き、研修会を開催した。
「やさしい日本語」を使用して、台風や地震が起きた時、周りの様子がどのように変化するかなど、災害についてイメージができるように学ぶ。
- ・ワークショップ：日本人、外国人の相互交流を図るため、スマートフォンなどの翻訳アプリを用いて意見交換を行う。

取組を実施した効果、成果

- ・参加者の3分の1が外国籍の方という大変貴重な研修会を開催し、「互いを知る」「外国人と日本人がコミュニケーションをとる機会を提供する」という目的を達成した。
- ・それぞれのニーズに合わせた「双方向性の高いコミュニケーション」が大切であることを認識した。



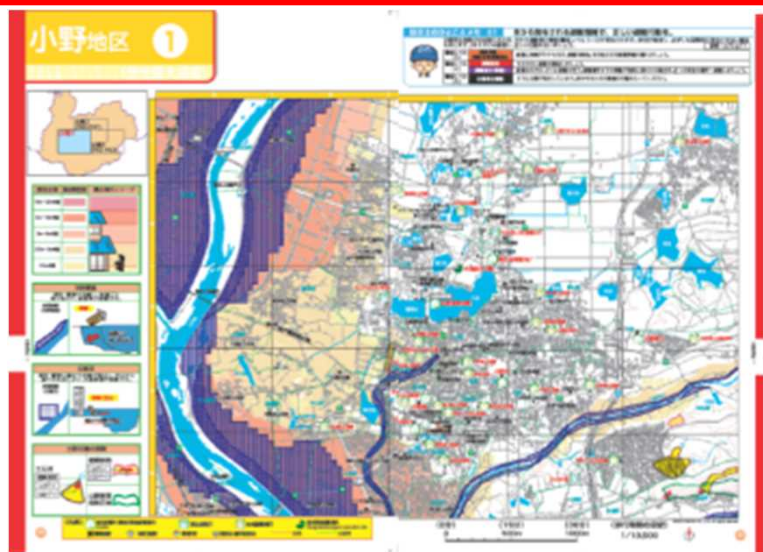
【小野市】防災マップ更新による新たな浸水想定区域等の周知について

○想定最大規模降雨による浸水想定(L2)を掲載した防災マップの作成及び市民への周知

- ・想定最大規模降雨による浸水想定、浸水継続時間、家屋倒壊区域を掲載
- ・学習面において、自らの避難計画が作成できるようマイタイムラインのページを新たに追加
- ・WEB版防災マップも作成し、随時の更新や自宅周辺のみでの防災マップ印刷も可能



マップ保有率を高めるための工夫



想定最大規模降雨による浸水想定区域図



避難計画を作成する「マイタイムライン」

取組を実施した効果、成果

- ・令和2年6月にすべての市民へ配布を行い、洪水、土砂災害などの地域特性による危険性の周知
- ・防災出前講座等において防災マップの学習面を活用し、「マイタイムライン」の作成を実施予定
- ・WEB版防災マップにより、自宅から避難場所までの避難経路図の作成に活用が可能
- ・毎出水期前に防災マップを再確認するきっかけづくりとして「防災お守りくじ」で抽選を毎年実施予定

【小野市】地域の防災力強化に向けた取り組みについて

○浸水想定区域にある三町（青野ヶ原町、西山町、復井町）合同の防災研修会

- ・【第1回目】三町合同で防災マップ等を使用し、地域の災害特性から避難経路、避難場所を検討
- ・【第2回目】避難所運営ゲーム（HUG）を三町合同で実施し、避難所運営の課題、意識の共有



合同で講師を招いての防災講座



合同での避難所運営ゲーム（HUG研修）



整備した防災資機材（無線、簡易トイレ等）

取組を実施した効果、成果

- ・三町合同で避難所運営ゲーム（HUG）を行うことにより、災害時の自治会を超えた避難所運営の課題認識、意識の共有が図れた。
- ・従来、各自治会で災害体制の構築をしていたが、L2を見据えた広域的で自治会を超えた避難体制、避難場所の必要性を認識し、自治会間のホットライン体制を構築した。

【加東市】避難所体験訓練の実施について

○避難所における体験及び訓練



- ・災害時に避難所開設を迅速に行うための訓練と、発災時の避難における市民の意識啓発を目的として、指定避難所である滝野総合公園体育館スカイピアにおいて避難所体験訓練を開催。
- ・避難者名簿の作成から、市内の王子コンテナ(株)兵庫工場との災害時応援協定による『ダンボールベッド』の組み立て、防災士による防災体験(非常持ち出し品、防災クイズ、ポリ袋クッキング)を行いました。



合同で講師を招いての防災講座



ダンボールベッド組立体験



ポリ袋クッキング

取組を実施した効果、成果

- ・避難所開設時に市職員がどう動けば良いか、課題を確認することができた。
- ・訓練参加者については、平常時からの災害時避難における備えや自助・共助の大切さを感じることができた。

【加東市】 要配慮者利用施設避難確保計画の作成支援について

○高齢者施設における避難確保計画の作成支援(計2回)



- ・【第1回目】避難確保計画作成の目的などの説明、想定される被害、「重ねるハザードマップ」を活用した避難場所、避難経路や移動時間などの確認。
 - ・【第2回目】避難を開始するための準備(行動項目)の想定、避難に必要な備品や資機材の確認を行ったほか、施設被害に対する課題と対応策の検討、防災情報の把握方法の確認、避難行動タイムラインの作成を行った。
- ワークショップ終了後、フォーマットに確認した事項を入力し、避難確保計画を作成。11/30(土)に避難訓練に参加し、作成した避難確保計画を基に避難することができるのか確認、検証。



第1回ワークショップ



第2回ワークショップ



避難訓練の様子

取組を実施した効果、成果

- ・施設周辺の災害リスク、避難のために準備しておくべきこと、どのタイミングでどのような行動をとるのか、施設の課題などを認識、確認することによって、より防災意識を高めることにつながった。

【兵庫県】 自主防災組織研修について

○避難に関する啓発活動について
災害時に自主防災組織が取り組むべき活動内容
についての講義及び避難所やその運営方法など
について研修会を開催



- 令和元年7月 自主防災組織研修
自主防災組織のリーダー等を対象
(加西市北部公民館)
(小野市伝統産業会館)
- ・災害時に自主防災組織が取り組むべき活動及びその
内容についての講義
- ・NPO法人兵庫県防災士会へ委託し、避難時や避難所
で起こる様々な出来事にどのように対処するか模擬体
験

取組を実施した効果、成果

防災情報や身近な災害事例を体験することで、自主防
災や避難の重要性について認識を強めた。



自主防災組織研修会(加西会場)



自主防災組織研修会(小野会場)